

パブリック・バンク(PUBM)

カンボジア・ベトナム・ラオスの海外事業、マレーシア経済堅調見通しに伴う純金利マージン高水準推移の期待

マレーシア | 銀行 | 業績フォロー

BLOOMBERG PBK:MK | REUTERS PUBM.KL

- 2024/12期1Q（1-3月）は、総収益が前年同期比2.3%増、純利益が同3.5%減。経費率悪化と不良債権処理費用増加が利益面で響いた。
- 純金利マージン縮小も貸出増により純金利収益増加。イスラム金融からの純収益、および純手数料・コミッション収益が堅調に推移。
- カンボジア・ベトナム・ラオスでの店舗拡大に加え、マレーシア経済の堅調見通しに伴い高水準の純金利マージン推移が期待される。

What is the news?

5/20発表の2024/12期1Q（1-3月）は、総収益が前年同期比2.3%増の33.80億MYR、経費率が同2.3ポイント上昇悪化の35.4%、貸倒他引当金繰入額が同42倍の6.34百万MYR、純利益が同3.5%減の16.53億MYR。金利ピークアウトに伴い純金利マージンが縮小も、貸出の伸びが補った。経費率悪化や不良債権処理費用の増加が響き最終減益。前四半期比は、純収益が3.7%増、純利益が2.3%増、貸出資産の質の面で3月末不良貸出比率（クロス）が0.03ポイント上昇悪化の0.62%（業界平均が1.65%）となった。

1Qの純収益の内訳は以下の通り。①純金利収益が前年同期比2.6%増の23.17億MYR。純金利マージン（NIM）が同0.05ポイント低下の2.21%だったものの、3月末貸出残高が同6.3%増だったことが増収に貢献した。②イスラム金融からの純収益が同4.1%増の4.13億MYR。③非金利収益が同0.5%増の6.49億MYR。その内、純手数料・コミッション収益が同10.8%増の5.34億MYRと堅調だったものの、外国為替差損益を主とするその他営業収益が同16.2%減の1.00億MYRだった。

1Qの営業セグメント別の税引き前利益は、全体の約50%を占める「リテール向け」が前年同期比2.1%増のほか「企業向け貸出」が同25%増、「ファンドマネジメント」が同11%増、「リース・割賦販売」が同15%増。他方、海外事業が同26%減、自社財務パフォーマンスが赤字転落だった。

How do we view this?

海外事業では子会社「カンバンク」がカンボジア最大の外銀の座を維持し、3月末で昨年末比横ばいの32店舗を展開。また、ベトナム子会社「パブリックバンク・ベトナム（PBVN）」は3月末時点で同横ばいの40店舗のほか、月末までの3ヶ月でラオスでも新たに4店舗を開設。IMF（国際通貨基金）の直近の世界経済見通しによれば24年の実質GDP成長率予想は、カンボジア6.0%（23年実績3.7%）、ベトナム5.8%（同5.05%）、ラオス4.0%（同4.2%）。海外事業が成長牽引の一角を担いそうだ。

マレーシア中銀は7/11、政策金利を7会合連続据え置きとなる3%とした。更に、グローバルな半導体サイクルの上昇基調により輸出がさらに拡大のほか、賃金上昇などが家計消費を支えとの今後の見通しだ。パブリック・バンクの純金利マージンも高水準での推移が期待されよう。

業績推移

※参考レート 1MYR=33.87円

事業年度	2021/12	2022/12	2023/12	2024/12F	2025/12F
当期利益(百万MYR)	5,657	6,119	6,649	6,943	7,312
EPS (MYR)	0.29	0.32	0.34	0.36	0.38
PER (倍)	14.34	13.26	12.20	11.68	11.09
BPS (MYR)	2.48	2.59	2.82	3.00	3.18
PBR (倍)	1.68	1.62	1.48	1.39	1.32
配当 (MYR)	0.15	0.17	0.19	0.20	0.21
配当利回り (%)	3.64	4.07	4.55	4.81	5.12

(出所: Bloombergをもとにフィリップ証券作成、F=予想はBloomberg)

フィリップ証券株式会社

配当予想 (MYR) **0.20** (予想はBloomberg)
 終値 (MYR) **4.18** 2024/7/16

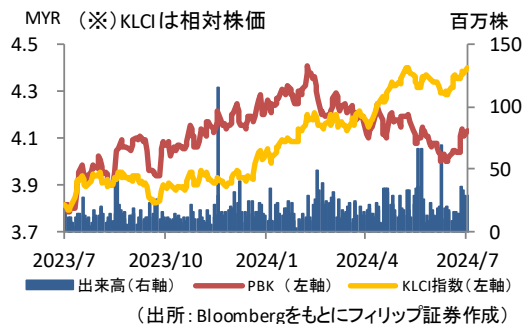
会社概要

1966年にTeh Hong Piowによって設立された大手商業銀行グループ。個人向け金融、イスラム金融、投資銀行業務、株式ブローカー業務、信託業務、株主名簿管理業務、ユニット投資信託事業、保険商品の販売など幅広い金融サービスを手掛ける。加えて、デジタル・バンキングサービスも拡張しており、同社のオンラインサイト「PBe」やモバイルアプリ「PB engage」を通じてキャッシュレス決済などを提供している。消費者、零細企業(SMEs)向け金融、ユニット投資信託ではマーケットで主導的な地位を築いている。

マレーシア国内では2024年3月位末現在、傘下企業含めて296の店舗と2,000超のATMなどセルフサービス拠点を展開。海外では香港・中国の78拠点のほか、カンボジアでは32店、ベトナムで40支店を、ラオスで4店を展開している。

企業データ (2024/7/17)

ベータ値 1.16
 時価総額(百万MYR) 81,137
 企業価値=EV (百万MYR) -
 3ヵ月平均売買代金(百万MYR) 87.9



主要株主 (2024/7)

(%)
 1. CONSOLIDATED TEH HOLDINGS SDN BH 21.64
 2. EMPLOYEES PROVIDENT FUND BOARD 16.00
 3. KUMPULAN WANG PERSARAAN 4.07
 (出所: Bloombergをもとにフィリップ証券作成)

リサーチ部

笹木 和弘
 kazuhito.sasaki@phillip.co.jp
 +81 3 3666 6980

【レポートにおける免責・注意事項】

本レポートの発行元: フィリップ証券株式会社 〒103-0026 東京都中央区日本橋兜町4番2号

TEL: 03-3666-2101 URL: <http://www.phillip.co.jp/>

本レポートの作成者: 公益社団法人 日本証券アナリスト協会検定会員、国際公認投資アナリスト 笹木和弘

当資料は、情報提供を目的としており、金融商品に係る売買を勧誘するものではありません。フィリップ証券は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。当資料に記載されている内容は投資判断の参考として筆者の見解をお伝えするもので、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。また、当資料の一部または全てを利用することにより生じたいかなる損失・損害についても責任を負いません。当資料の一切の権利はフィリップ証券株式会社に帰属しており、無断で複製、転送、転載を禁じます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則 平 14.1.25」に基づく告知事項>

・ 本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。